

第50回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日時：令和4年1月12日（水） 9時30分～10時
- 2 場所：本庁3階 第三会議室
- 3 出席者：資料席次表参照
- 4 議事概要

[市長]

オミクロン株による感染が全国で拡大している。9日から沖縄・山口・広島でまん延防止等重点措置が適用された。岡山市においても、感染は急拡大している。

本日は、今後の対応について協議を行うため、みなさんに集まってもらった。各局から報告してもらいたい。

(1) 新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

・感染状況について

1月に入り感染者が急激に増加している。年末・年始に伴う人流の増加、オミクロン株の影響が要因として考えられる。全国的にも感染が拡大している。

1月以降の感染者の年代は、10代、20代、30代、40代という若い方が占めている。

推定感染源では、不明が3割程度、同居家族のほか特徴的なところでは、管外からの感染、管外での感染、管外の患者との接触による感染が18%と多くなっている。年末年始で人流の増加による影響と考えている。

感染者の症状では、軽症、無症状のみで、現在のところ中等症、重症はいない。発熱等はあるが症状は多岐にわたっており、軽い症状が多々見られる。

保健所の応援体制は、今日までのところ応援フェーズⅡと判断しており、必要な人数は最大122人と考えている。現在はそこまで応援は入っていないが、対応できるよう準備を進めている。感染者が増えた場合には、フェーズを切り替えて対応していく。

[保健所長]

オミクロン株は、マスコミ等で伝えられているとおり感染力が非常に強い。オミクロン株の潜伏期間は2日ないし3日で2次感染者が発病している。したがって、2次感染者についてはそれに遡って1日ないし2日前から感染力を持っているので、発端の方が発病した時点で既に2次感染をした方が3次感染を起こす能力を持っているという事態が、オミクロン株が確認されて以降、判明している。したがって、患者が1人発生した場合の各組織での対応や学校での対応等について、迅速化が必要であるので、保健所の対応等を強化していく中で、協力をお願いする。

[感染症対策担当局長]

オミクロン株は、潜伏期間が短い。その特徴に合わせ、濃厚接触者などの検査時期を変更

し、早めに対応するよう保健所も動いているところである。

市としては、市民の相談、感染者や濃厚接触者の増加に対応できるよう、保健所の体制を引続き強化していきたい。

現在のところ、医療体制が逼迫している状況ではなく、保健所において、感染者の状況、症状に応じ、適切に療養先、入院、宿泊療養につなげている。

現在、既に、高齢者や基礎疾患を有するなど、重症化リスクの高い方には、医師の判断で、点滴薬や飲み薬の処方も開始されている。

急激な感染拡大の可能性もあるので適切な対応に取り組んでいく。

併せて、今後の急激な感染拡大に備え、各職場において業務継続を確認してもらいたい。職場で感染者が発生したり、濃厚接触者となり出勤できなくなる事態の発生も念頭において、「継続すべき業務」、「縮小できる業務」、「休止できる業務」等を改めて各局各課で検討をお願いする。

オミクロン株であっても市民のみなさんには、基本的感染防止対策とともに、三密の防止、一つの密でも避けた方がよいとされているので、密を避ける行動をお願いする。併せて、少しでも症状があれば、仕事や学校を休み、PCR検査を念頭に、医療機関の受診をお願いする。

・ワクチンについて

3回目の全体的な接種概要については、前回12月23日開催の本部会議での説明と概ね同じだが、来週から接種券の発送や、高齢者の予約・接種が開始することから、再度説明する。

資料の5ページ、「1 接種体制」について。今回の追加接種の対象者数は、およそ53万人。1・2回目同様に、市内約350の医療機関での個別接種を主とし、市内中心部での集団接種も行う。来週1月17日から予診票などの書類を発送する。対象者は高齢者と医療介護の従事者や施設入所者などで、詳細は8ページに記載している。

併せて、同じ1月17日から、予約方法や注意事項、接種スケジュールなどを記載したチラシを市内全戸に配布し周知に努めるとともに、コールセンターの体制も強化し市民の皆さんへの丁寧な情報提供と、円滑な問い合わせ等に応じたい。

「2 交互相種」について。追加接種では、1・2回目と異なるワクチンを接種する「交互相種」が可能となっている。1・2回目では特に高齢者の方においては殆どの方がファイザーを接種されたが、追加接種用に国から供給されるワクチンは、ファイザーと武田/モデルナが「5：5」の比率で配分されるので、交互相種で武田/モデルナを活用する必要がある。このため岡山市では、皆さんが身近なかかりつけ医でワクチンを選択できるよう、約180の医療機関で武田/モデルナ社製ワクチンの接種体制を構築している。なお、武田/モデルナを使う3回目接種では、打つ量が1・2回目の半分になるので、武田/モデルナの接種についても積極的にご検討願いたい。

「3 集団接種」については資料 6 ページを確認してもらいたい。1 月 21 日（金曜日）から市内中心部の商業施設において、時期ごとに会場を変えて実施する。当面は高齢者の方が主な対象者となるので、接種時間は 1 3 時から 1 8 時にしている。具体の日程はページ下部の表を見てもらいたい。

ファイザーと武田／モデルナ、曜日を分けて接種を行う。一日当たり最大約 5 4 0 人の接種を予定している。集団接種には事前に予約が必要で、令和 4 年 1 月 19 日から岡山市コールセンターと、県共通予約システムで予約の受け付けを開始する。

1・2 回目接種についても、市内で約 1 8 0 の医療機関で、引き続き 1・2 回目の接種を継続しているので、1・2 回目未接種で希望する方は、岡山市コールセンター、もしくは県共通予約システムから予約してもらいたい。

次に資料 7 ページ、「追加接種のさらなる前倒し促進に向けて」について。まず、「これまでの経緯及び対応」であるが、当初、国は、追加接種について「2 回目接種から原則 8 カ月以上経過後」に接種可能という方針であったため、岡山市では「2 回目接種から 8 カ月以上経過する前月の中旬」に接種券等を発送する方針とし準備を進めてきた。

「マルの 3 つ目」、オミクロン株の急激な感染拡大もあり、国は昨年末に医療・介護従事者等、一部対象者への接種前倒しを進める方針を打ち出した。これを受け、岡山市としては 2 月中旬の予定を 1 月末に早めるなど、接種券等の発送を 2 週間から 1 カ月前倒しすることとして、具体的な発送スケジュールを示した。8 ページに掲載しているとおり。

1 月 1 7 日に約 8 万人、1 月末に約 7 万人発送することで、高齢者の約 9 割に 1 月中の接種券等の送付ができる。また、2 回目の接種日にもよるが、最短では「6 カ月以上経過直後」の接種が可能になるので、これにより、多くの高齢者の方に迅速にワクチン接種を受けてもらうことができると考えている。

次に、「今後の対応について」。先に説明したが、本市においても感染者の急速な拡大が見られる。医療・介護等の従事者、高齢者施設等の入所者の方は既に 6 カ月経過で接種の広報を打ち出していたが、現在、対象者 2 万 5 千人のうち約 1 万人の接種にとどまっている。医療体制の維持と施設等のクラスターの防止のため、医療や介護の従事者、高齢者施設の入所者、病院等の入院患者などには、一般高齢者が本格化する前に可能な限り速やかな接種が進められるよう、医療機関、医師会等の関係団体及び高齢者施設、障害福祉施設、介護・障害福祉サービス事業所等に対し、昨日付で再度通知を行った。

具体的には、接種券の到着前でも、できるだけ一般高齢者接種の本格化前に、速やかに接種を実施すること、接種にあたっては武田／モデルナに加え、ファイザーを活用しても差し支えないこと、既に接種スケジュールを組んでいる場合でも、可能な限り前倒しでスケジュールを調整し、接種につとめること、などを改めて依頼した。

ワクチン接種についてはこれまで 2 回の接種を実施してきたところであり、配送、接種体制の構築などについては、これまでのノウハウを活かしながら、できるだけ効率的に取り組んできた

いと考えている。

また、一般の方のワクチン接種についても、国において前倒し方針が示されているが、こういった今後の状況の変化についても適切に対応していきたい。

(2) 市役所内での職場及び職員間での基本的な感染予防対策の徹底と職員の勤務の分散について【総務局】

[総務局長]

市役所内での職場及び職員間での基本的な感染予防対策の徹底と職員の勤務の分散について、各局区所属長に改めて通知を発出している。今いちど内容を確認して取り組んでほしい。

(3) その他

[市長]

B C Pについてはどうか。

[感染症対策担当局長]

昨日、各課に職員共通システムで通知したので、各局各課で検討をお願いしたい。

[市長]

B C Pが必要な理由だが、感染者数が急増しているということが1点ある。感染者が急増していったときに濃厚接触者の隔離が必要とされている。濃厚接触者の隔離の考え方を話してほしい。

[感染症対策担当局長]

まずは調査により判断するが、マスクなしで近い距離で一定時間を過ごした方を濃厚接触者とするが、特に職場であれば、昼食等の食事を一緒にした時に、マスクを外しての接触時間が長くなるため、濃厚接触者とする場合が多い。また、斜め前や隣の近い席の方については、接触者として検査を受けてもらうが、濃厚接触者とならない場合もあるので、そこは各保健所の調査において決定する。

[市長]

濃厚接触になった場合は。

[保健所長]

現在、最終接触から2週間、不要不急の外出の制限と出勤等の差し控えをお願いしている。したがってオンライン等の勤務は継続できる可能性はあるが、そういった体制も含めてB C Pを構築してもらいたい。

[市長]

オンラインでの勤務は可能であるが、2週間は職場に出られない。一人が感染すると周りに相当数の影響が出てしまうということで、まず、我々の中でのB C Pはきちんとしていこうということか。これは経済界には伝えるのか。

[感染症対策担当局長]

保健所の考え方について、どのように伝えていくか産業観光局と検討したい。

[市長]

その他、国の方針も細部にはわかっていないし、また、県の動きもこれから様々あることであるから、我々はそれらを受けて対応を決めていかないとならない。

5 本部長まとめ

オミクロン株は、潜伏期間が2日から3日と非常に短い。感染力も強まっている。12月の感染者は全体で14人であったが、1月12日の時点で220人となっている。この状況を受け、追加のワクチン接種を前倒して行うこととした。

さらに市民の相談、感染者や濃厚接触者の増加に対応できるよう、保健所の体制を強化した。感染拡大に応じ、さらに強化していきたい。

業務継続計画の具体化についても全庁的に指示を行ったということであった。

1月7日に、政府のコロナ対策本部が、オミクロン株について、「伝播性の高さが懸念され」、「デルタ株と比較して重症化しにくい可能性が示唆されているが、今後急速な感染拡大により、医療提供体制が急速にひっ迫する可能性に留意が必要」との分析を示した。

また、「オミクロン株については、ワクチンの追加接種により発症予防効果等が高まる可能性が示唆されており、重症化リスクが高い高齢者などの方々に迅速にワクチン接種を進めることが重要」としている

市内の高齢者で2回目の接種を受け終えた方が17万人余りである。今回、1月17日に約8万人に接種券を送付する。これは昨年6月に2回目接種を終えた方々である。また、昨年7月に2回目接種を終えた方約7万人に対して1月末に接種券を送付する。接種券が届けば予約、接種が可能になるので、円滑な接種をお願いしたい。

集団接種についても、1月21日からイオンモール岡山会場を皮切りに開始するので、ぜひ利用していただきたい。

なお、医療、介護・障害福祉サービス従事者及び高齢者施設等の入所者などは、2回目接種から6カ月経過すれば、接種できることになっている。

岡山市も12月から接種を始めているが、対象者2万5千人のうち約1万人の接種にとどまっている。できるだけ早く、特に一般の高齢者の接種が本格化する前に、残りの1万5千人の方に接種を受けていただきたい。それを要請する旨、昨日、市から通知を出している。

なお、今日は医療従事者等や一般の高齢者等についてのコメントに留まっている。報道では、国から64歳以下の一般の方についても、接種の前倒しをすると示されている。我々はそれに沿った形で対応していきたいと思っているが、詳細が分かり次第、準備して、また本部会議で決定したい。

医療体制についてはひっ迫している状況ではない。保健所において、感染者の症状等に応じ、適切に療養先を判断し、入院、宿泊療養につなげる対応を行っている。これからも保健福祉局・保健所において適切に対応してもらいたい。